

日赤の主な事業



赤十字安全奉仕団の活動から



国際活動

世界には今、128か国に赤十字社があります。日本赤十字社も国際赤十字の一員として、各国の赤十字社、ジュネーブにある赤十字国際委員会、赤十字社連盟と協力し、戦争や自然災害に苦しんでいる人々に中立、公平な立場で救援の手を差し伸べています。また、発展途上国赤十字社に対しても開発計画を推進しています。

現在、日本赤十字社は、インドシナ難民救援のため、医療班を派遣したり、各種救援物資の送付を行っています。

災害救護

災害にあった人々を救護する仕事は、日本赤十字社のもっとも重要な事業の一つで、災害が発生するといつどこにでも敏速に救護班を派遣して被災者や傷病者を救護しています。また、日頃から災害時に備えて、毛布、衣料品、日用品などの救援物資を蓄えて、災害時にはこれを配布しています。

日赤白根市地区においても

昭和56年度に3件の火災の被災者に、毛布、日用品を配布しました。

医療、看護婦養成

日本赤十字社には、全国各地に病院、産院など100以上の医療施設があり、地域医療推進の中心となっています。

赤十字といえは看護婦といわれるように、赤十字看護婦を養成するようになってからすでに92年、68,000人を超す卒業生を送り出しています。

三大講習会

救急法

思わぬ事故にあった人や急病人に応急手当を施して、医師の手にわたすまでの救急処置として、「人工呼吸」「止血の仕方」「外傷や骨折の処置の仕方」など、実技を中心に指導します。

水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「人工呼吸と応急処置」など指導します。

家庭看護法

講習は、○基礎家庭看護一

家庭に病人がでたときの看護
○幼児家庭看護一子供の健康と事故防止
○老人家庭看護一老人の健康と幸せのため、の3つの課程に分かれています。

血液事業

日本赤十字社では、全国62の血液センターを中心に、みなさんの愛の献血を受け入れています。医学の進歩と社会環境の変化によって、ますます多くの血液が必要となっている現在、国民が安心して輸血を受けられるよう、より良い血液事業の伸展をめざしています。



はたちの献血から

赤十字安全奉仕団

赤十字の人道、博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティア組織が赤十字安全奉仕団です。

白根赤十字安全奉仕団では救急法の普及活動、社会福祉活動など、活発に活動しています。問い合わせは、河内文子（白根高校内・☎②185・昼）、和田三雄（上木山・☎②4476・夜）へ、お気軽に。

青少年赤十字

青少年赤十字は、将来をになう青少年に、赤十字を正しく理解し、進んで赤十字運動に参加してもらい、青少年が世界の平和と人類の福祉に貢献できるようにと、学校の中に組織されています。

日赤白根市地区では、庄瀬中学校が加盟し、様々な活動を活発に行っています。

救急法講習会

万一、事故や急病になった人に対するの応急手当を覚えてみませんか。

□とき 6月15日、22日、29日、7月6日、13日、20日の毎週火曜日、計6回 午後7時30分から9時30分まで

□ところ 青年教育センター
□対象者 原則として6日間出席できる方 約30人

□費用 無料

□申込先 6月12日までに、福祉事務所庶務係（☎③2111②250）へ



昨年の救急法講習会から